

平成 28 年 2 月 5 日

ジカ熱感染を心配している妊婦のみなさまへ

公益社団法人 日本産科婦人科学会
理事長 藤井 知行
周産期委員会委員長 竹田 省

今般、中南米を中心に、蚊媒介感染症の一つであるジカ熱の妊婦への感染が問題となっており、妊娠中の感染によって赤ちゃんが小頭症を発症する可能性が疑われています。

ジカ熱とは、蚊に刺されることによる感染症のひとつです。日本国内では流行をしていない感染症ですが、流行地に観光や仕事などででかけた方が現地で蚊に刺されて感染し、帰国してから発症する場合があります。潜伏期間は 2～7 日（～12 日）です。

感染しても妊婦さん自身の症状は全くないか軽くて気づかないことが多いとされています。症状としては、発熱、頭痛、眼球結膜充血、皮疹、筋痛、関節痛等がありますが、数日で治ることがほとんどです。

ただし、妊娠中の感染によって赤ちゃんが小頭症を発症する可能性が疑われているため、妊婦さんがジカ熱の感染流行地に渡航することは可能な限り控えてください。

さらに詳細な情報が得られ次第、情報を追加します。

参考

ジカ熱に関する情報提供について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000109908.html>

ジカウイルス感染症に関するQ&Aについて（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109899.html>

ジカウイルスと小頭症などの増加に関する WHO 緊急委員会報告について（厚生労働省）

http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/zika/27chi3_226.pdf

感染症危険情報（外務省）

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pchazardspecificinfo.asp?infocode=2016T012#ad-image-0>

ジカ熱（国際感染症センター 国際感染症対策室）

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカ熱/>

妊婦のジカ熱感染と小頭症の発生のおそれについて（日本産婦人科医会）

<http://www.jaog.or.jp/news/160122zikavirus.pdf>